

全学教養教育科目(高梁・南あわじ志知キャンパス)

目 標	建学の理念	学生一人ひとりのもつ能力を最大限に引き出し引き伸ばし、社会に有為な人材を養成する				
	ブランドビジョン	実践的な知識を自ら学ぶ力、多様化する社会で生きぬく力、自分の可能性を信じる力を引き伸ばします				
分野 主な育成 する能力 (対応DP) 年次	人間力育成科目	数理・情報活用科目	言語教育科目	基礎教養科目	キャリア教育科目	
	DP3 主体的な学びと論理的な思考 DP5 グローバルな視野と地域貢献活動 DP6 課題解決力 DP7 自己効力感	DP2 情報の活用	DP1 知識・技能 DP3 主体的な学びと論理的な思考 DP4 コミュニケーション・表現力 DP5 グローバルな視野と地域貢献活動	DP1 知識・技能 DP3 主体的な学びと論理的な思考	DP3 主体的な学びと論理的な思考 DP7 自己効力感	
4年						
3年					キャリア実践Ⅱ キャリア実践Ⅰ	
2年		数理・データサイエンス・AI応用	言語教育科目 レベルアップ英語Ⅱ レベルアップ英語Ⅰ	基礎教育科目 社会の理解 人間形成	キャリアデザインⅡ	
1年	課題解決演習 グローバルスタディーズ入門 SDGs概論 きびこく学	数理・データサイエンス・AI基礎 情報活用	言語教育科目 その他の言語科目Ⅰ・Ⅱ アクティブ英語Ⅱ アクティブ英語Ⅰ 英語基礎Ⅱ 英語基礎Ⅰ	基礎教育科目 自然科学	キャリアデザインⅠ	

2025年度 人間科学部人間科学科理学療法学専攻 履修モデル

ブランド ビジョン	実践的な知識を自ら学ぶ力、多様化する社会で生きぬく力、自分の可能性を信じる力を引き伸ばします				
人材養成	地域社会で暮らす人間の心理的・身体的・社会的な側面への深い理解のもと、人間科学を基盤に理学療法の専門性を発揮し、その地域社会で暮らす人間が抱える課題を発見・分析し解決できる高度な人材を養成する				
目標	教養教育科目	人間科学の基礎を学ぶ	理学療法の基礎を学ぶ	対象に応じた理学療法を学ぶ	知識と技術を統合する
4年	↑ 全学共通カリキュラム修得			総合臨床実習	理学療法総合演習
3年		地域マネジメント学 ヘルスプロモーション 生活環境学 生活支援工学 画像診断学 コミュニティ心理学	臨床評価実習・地域理学療法学実習 生活技術学実習 スポーツ障害 整形外科Ⅱ 一般臨床医学 救急救命医学 小児リハビリテーション学 難病理学療法学	運動系理学療法学演習 神経系理学療法学演習 循環呼吸系理学療法治療学実習 運動系理学療法治療学実習 神経系理学療法治療学実習 義肢装具学実習 物理療法学実習	リハビリテーションマネジメⅠ・Ⅱ 理学療法臨床評価演習 リハビリテーション臨床技能演習 理学療法学研究法演習Ⅰ・Ⅱ
2年		人間発達学 生活技術学 臨床心理学概論 公衆衛生学 園芸療法実習	解剖学演習Ⅰ・Ⅱ 生理学演習 運動学 臨床神経学 精神疾患とその治療 内科学Ⅰ・Ⅱ 整形外科Ⅰ 病理学	評価学概論 評価学実習 運動療法学総論 義肢装具学 物理療法学 循環呼吸系理学療法学演習 神経系理学療法評価学	基礎演習Ⅲ・Ⅳ リハビリテーション学研究法
1年		臨床見学実習 人間科学概論Ⅰ・Ⅱ 人間生活学 中山間地域健康増進演習 地域レクリエーション演習 園芸療法論 健康・医療心理学	理学療法概論 リハビリテーション概論 リハビリテーション医学 解剖学Ⅰ・Ⅱ 生理学Ⅰ・Ⅱ		基礎演習Ⅰ・Ⅱ

教養教育科目では大学生にふさわしい広い視野を養います。

1・2年生は、まず人間科学の基礎となる、人体の構造や機能、心理、病気や治療法について学びます。また、理学療法の基礎となる、運動機能や活動についての理解を深めます。

2・3年生になると、対象に応じた理学療法として、疾患別の理学療法の実践について学びます。

3・4年生になると、今までに習ったことを現場で実施できるように、実習などを通して知識と技術を統合します。